

Yeaster 14

イースター 14

放牧酪農

低タンパク



高タンパク
粗飼料に最適

放牧牛の管理に苦勞していませんか？
ヒントはエサにあるかもしれません

放牧草や2番草給与時に起こりやすいMUN上昇は肝臓の負担となり、
繁殖成績の低下や疾病のリスクがあります。

放牧時の飼養管理に！酪農家さんからのアドバイスを参考に、

CP14と低く設定した飼料です。



ニッテン配合飼料

イースター14

Yeaster14

基本情報

用途	放牧向け
C P	14
T D N	74
荷姿	500kg
形状	ペレット&フレーク



イースター14の 特徴

春から秋にかけての放牧時や、高タンパクな粗飼料給与時の調整にご使用ください。CP14と一般的な配合飼料よりも低く設定しております。ルーメンpHを安定させる重曹を添加しております。イースト菌はルーメン内嫌気性菌数を増加させ、消化率を高めます。また、ストレスを軽減し、疾病に対する抵抗力を高めます。分離給与、またはTMRに混合して給与してください。

放牧時の飼養管理

放牧草に含まれる栄養成分は、季節により変動します(表1)。一般的に、タンパク質は春から秋にかけて上昇していきます。一方でエネルギーの指標であるTDNは春が最も高く、夏から秋にかけて低下します。飼養管理では、この季節変動に合わせた調整を行う事が重要です。タンパク質の過不足の指標となるのは乳のMUNです。バルク乳として15mg/dl以下におさめることが推奨されています。

イースター14の様なCPの低い配合飼料に切り替えたり、ルーメン内アンモニアを低減するビートパルプを給与して過剰なタンパク質給与を抑えましょう。

〈表1〉放牧草の栄養価含量推移(DM%)
(独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 2006)

栄養価	春季	夏季	秋季
CP	19.8	22.5	25.6
NDF	46.0	47.5	42.7
TDN	75.2	63.2	68.4



日本甜菜製糖株式会社 飼料事業部

お問い合わせ Tel: 0155-48-4103 Fax: 0155-48-9607
ホームページ nitten-feed.jp

公式HP



Facebook



Instagram



公式キャラクター
「ミルテン」